

一般社団法人日本機械学会
関東支部登録会員各位

日本機械学会 関東支部
支部長 天野嘉春
埼玉ブロック長 皆川佳祐

埼玉ブロック「見学会」&「イブニングセミナー（第15回）」のご案内

【開催日時】

2023年2月9日（木）

15:00～18:00 見学会 理化学研究所和光地区

18:00～19:15 イブニングセミナー* 萩原 将也 理研白眉研究チームリーダー

*イブニングセミナーのみのご参加も歓迎します。

【会場】

見学会：理化学研究所和光地区

イブニングセミナー：理化学研究所和光地区及び Zoom

理化学研究所和光地区 アクセス

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

<https://www.riken.jp/access/wako-map/>

見学会詳細

【目的】

本会の趣旨は、日本で唯一の自然科学の総合研究所である理研が行っている様々な分野の最新研究を見学会を通じて日本機械学会会員の皆様に広く知って頂くことである。

【参加者】

定員 20名（先着順）．オンサイトのみ．

【会場】

理化学研究所和光地区

集合場所：西門守衛所において広報室担当と待ち合わせください．担当が会場まで引率します．

【スケジュール】

14：50 西門守衛所集合

15：00 理化学研究所の紹介（脳科学中央研究棟 C102,103 大セミナー室）

15：30 脳科学中央研究棟 Brain Box の見学

16：00 創発物性科学センター内研究室見学

17：00 萩原生体模倣システム理研白眉研究チーム 見学

イブニングセミナー（第15回）

【会場】

ハイブリッド開催：オンサイト（定員 30名）/オンライン（定員 500名）

オンサイト会場：理化学研究所和光地区

S01 生物科学研究棟 3階 S311 大会議室

西門より入所し，西門守衛所において入所許可証をお受け取りください。お名刺を提出されるとスムーズです。

オンライン：Zoom link は開催日までにメールでお知らせします。

【講演題目】

次世代 *in vitro* モデル構築のための 培養環境設計・制御手法の確立

【講師】

萩原 将也 氏

理化学研究所開拓研究本部 理研白眉研究チームリーダー

【内容】

近年，幹細胞からミニ臓器を構築するオルガノイド形成技術については，世界的に注目され開発が進められている。しかしほとんどのオルガノイドは，個々に解離されて位置情報を失った細胞の集合体を単一の条件（培地成分，ECM，細胞塊）で培養し，細胞の自律形成 (*self organization*) に依存して作られるため，外見的には球状で，その中に分化した細胞が点在するものがほとんどであり，前後左右上下の軸情報を有していない。また，細胞自身がお互いにコミュニケーションをとり移動・増殖するため，この自律形成を阻害することなく適切に誘導するためには，細胞同士のシステムを理解し，適切に場を設計・制御する必要がある。私たちは，*in vitro* で取得した細胞行動データと仮説した数理モデルとを繰り返し比較して，細胞行動の裏にあるルールを理解し，細胞周りに適切な場を与えるための，場の制御技術確立することで，オルガノイドが適切な形態へと誘導させることを目指している。

HP https://www.riken.jp/research/labs/hakubi/h_hum_biomimetic/

<https://hbms.riken.jp/index.html>

【スケジュール】

17：45 オンライン接続開始，開場

18：00 開会の言葉，ブロック長挨拶

18：05 講演「次世代 *in vitro* モデル構築のための 培養環境設計・制御手法の確立」

萩原 将也 氏

19：05 質疑応答

19：15 閉会の言葉

19：30 懇親会（オンサイトの方で希望者のみ，実費）

見学会・イブニングセミナー共通

【申込方法】

下記フォームよりお申し込みをお願いします。イブニングセミナーのみの参加も歓迎です。

<https://forms.office.com/r/yyj55HHL6c>

後日、確認メールをお送りします。申込後1週間が経過しても確認メールが届かない場合には下記問合せ先までご連絡ください。

【参加費等】

参加費（一般）無料

参加費（学生）無料

会員以外の方も聴講頂けます。

【問合せ先】

日本機械学会関東支部 埼玉ブロック

（担当：理化学研究所 新宅博文）

E-mail：saitama[at]jsme.or.jp（[at]を@に置き換えてお使いください）

【申込締切日】

2023年2月3日（金）

【注意事項】

- ・参加者による、セミナーの静止画/動画撮影、録音は禁止です。「レコーディング」ボタンで録音することは法律で禁止されています。
- ・当日の発表の音声、スライドの著作権は発表者に帰属します。
- ・オンライン参加のための技術的サポートはできません。